

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践
(予算費目名) 小学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

心身に障がいのある児童が在籍する、小学校に対して指導員等を配置し、障がいのある子どもの教育の充実を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	97,467	108,778	112,539
決算	91,542	102,372	
人件費(A)	4,200	4,200	1,680
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	95,742	106,572	114,219

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
小学校発達支援教室数	教室	76	目標	49	52	55
			実績	49	52	
小学校発達支援教育指導員の配置数	人	76	目標	49	52	55
			実績	49	52	
スクールヘルパーの配置数	人	127	目標	82	88	91
			実績	82	90	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

心身に障がいのある児童が在籍する、小学校に対して指導員等を配置し、障がいのある子どもの教育の充実を図る。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
計画通り、小学校3校に発達支援教室を開設し、発達支援教育指導員、スクールヘルパーを配置した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	発達支援教育推進事業	○	○	○		114,219	112,539	0.2			0.1
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						114,219	112,539	0.2			0.1

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業目的・事業対象

心身に障がいのある児童が在籍する、小学校に対して指導員等を配置し、障がいのある子どもの教育の充実を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.37】

・発達支援教室の開設

【重点戦略項目No.38】

・発達支援教育指導員を配置

・スクールヘルパーを配置

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校スクールヘルパー設置要綱外	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	97,467	108,778	112,539
	決算	91,542	102,372	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	91,542	102,372	112,539
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		4,200	4,200	1,680
人工	正規	0.6	0.6	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
小学校発達支援教室数(教室)				-		37
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	49	52	55	58		76
実績値	49	52				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
小学校発達支援教育指導員の配置数(人)				-		38
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	49	52	55	58		76
実績値	49	52				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
スクールヘルパーの配置数(人)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	82	88	91			127
実績値	82	90				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.37】

・発達支援教室の開設

【重点戦略項目No.38】

・発達支援教育指導員を配置

・スクールヘルパーを配置

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り、小学校3校に発達支援教室を開設し、発達支援教育指導員、スクールヘルパーを配置した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画通りに進めることができた。しかし、障がいなど支援の必要な子どもは増加しているため、さらなる拡充が求められる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

障がいなど支援の必要な子どもが増加しているため、学校等のニーズに合わせ一層の充実を図る必要がある。

補助シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
37	発達支援教室開設 49校開設	発達支援教室開設 52校開設	発達支援教室開設 55校開設	発達支援教室開設 58校開設
38	発達支援教育指導員 49人配置	発達支援教育指導員 52人配置	発達支援教育指導員 55人配置	発達支援教育指導員 58人配置

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践
(予算費目名) 中学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

心身に障がいのある生徒が在籍する、中学校に対して指導員等を配置し、障がいのある子どもの教育の充実を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	37,365	42,645	44,675
決算	34,601	40,151	
人件費(A)	2,100	2,100	980
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	36,701	42,251	45,655

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
中学校発達支援教室数	教室	41	目標	23	25	27
			実績	23	25	
中学校発達支援教育指導員の配置数	人	41	目標	23	25	27
			実績	23	25	
スクールヘルパーの配置数	人	44	目標	26	30	30
			実績	26	32	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

心身に障がいのある生徒が在籍する、中学校に対して指導員等を配置し、障がいのある子どもの教育の充実を図る。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

計画通り、中学校2校に発達支援教室を開設し、発達支援教育指導員、スクールヘルパーを配置した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	発達支援教育推進事業	○	○	○		45,655	44,675	0.1			0.1
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						45,655	44,675	0.1			0.1

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業目的・事業対象

心身に障がいのある生徒が在籍する、中学校に対して指導員等を配置し、障がいのある子どもの教育の充実を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.37】

・発達支援教室の開設

【重点戦略項目No.38】

・発達支援教育指導員を配置

・スクールヘルパーを配置

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校スクールヘルパー設置要綱外	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	37,365	42,645	44,675
	決算	34,601	40,151	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	34,601	40,151	44,675
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,100	2,100	980
人工	正規	0.3	0.3	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
中学校発達支援教室数(教室)				-		37
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	23	25	27	29		41
実績値	23	25				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
中学校発達支援教育指導員の配置数(人)				-		38
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	23	25	27	29		41
実績値	23	25				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
スクールヘルパーの配置数(人)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	26	30	30			44
実績値	26	32				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.37】

・発達支援教室の開設

【重点戦略項目No.38】

・発達支援教育指導員を配置

・スクールヘルパーを配置

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り、中学校2校に発達支援教室を開設し、発達支援教育指導員、スクールヘルパーを配置した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画通りに進めることができた。しかし、障がいなど支援の必要な子どもは増加しているため、さらなる拡充が求められる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

障がいなど支援の必要な子どもは増加しているため、学校等のニーズに合わせ一層の充実を図る必要がある。

補助シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
37	発達支援教室開設 23校開設	発達支援教室開設 25校開設	発達支援教室開設 27校開設	発達支援教室開設 29校開設
38	発達支援教育指導員 23人配置	発達支援教育指導員 25人配置	発達支援教育指導員 27人配置	発達支援教育指導員 29人配置

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

・不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止、早期発見、早期対応、外国人児童生徒の支援等を行っていくため、教育相談体制を充実していく。
・就学支援委員会や幼児ことばの教室の運営を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	290,948	303,122	321,987
決算	276,523	282,523	
人件費(A)	88,300	105,100	107,200
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	364,823	387,623	429,187

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
教育相談支援センター及び各区における相談件数	件	1400	目標	1,400	1,400	1,400
			実績	1,350	1360	
市内小中学校の不登校児童生徒数	人	400	目標	930	930	930
			実績	1,034	1,044	
日本語を必要とする児童生徒への支援達成率	%	100	目標	98	99	99
			実績	98	99	

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

・不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止・早期対応、外国人児童生徒の支援等を行っていくため、教育相談体制を充実していく。
・心身に障害のある子供の教育の充実を図る。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止・早期対応、外国人児童生徒の支援等を行った。
・就学支援委員会の判定数は目標数を上回った。今後は保護者への周知と理解を進めていく。
・幼児ことばの教室の設置校が増えていかない。利用者や設置する学校の状況などを考慮して設置の検討を進めていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	発達支援教育推進事業					63,752	16,752	5.0	1.0		3.0
2	外国人子ども教育支援推進事業	○	○			138,227	115,827	1.6			4.0
3	生徒指導事業	○	○	○		145,752	138,752	1.0			
4	教育相談推進事業	○				24,083	17,783	0.9			
5	不登校児支援推進事業	○	○			57,373	32,873	1.5			5.0
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						429,187	321,987	10.0	1.0		12.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業目的・事業対象

すべての子どもに適正な教育を提供するため、調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図る。また、学習障害等のある子どもにきめ細かな指導を行うよう体制の整備を行う。

◇事業の概要

- ・就学支援委員会の運営
- ・幼児ことばの教室の運営

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S47	—	一般会計	自治事務(その他)	学校教育法、発達障害者支援法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	6,756	6,445	16,752
	決算	4,889	4,371	
	国・県支出			1,111
	市債			
	その他		38	45
	一般財源	4,889	4,333	15,596
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		33,700	50,500	47,000
人工	正規	3.5	5.5	5.0
	再任用(h31)	1.0	1.0	1.0
	再任用(h26)			
	非常勤	2.0	3.0	3.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
就学支援委員会判定数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1140	1,150	1,160			1500
実績値	1,129	1,260				
幼児ことばの教室設置校数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	-	11	11			15
実績値	-	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ・就学支援委員会の運営
- ・幼児ことばの教室の運営

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・就学支援委員会判定数が目標数以上となった。今後も保護者への周知と理解をすすめていきたい。
- ・幼児ことばの教室設置校は現状のままで増えていない。利用者や、設置する学校の状況などを踏まえ、設置について検討していきたい。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

障がいを持つ幼児・児童・生徒が増加傾向にあることから、就学相談件数や就学指導委員会に諮る件数が増加している。また、内容も多様化しているおり、教育的ニーズや保護者等に対するサポート体制をより一層充実させる必要がある。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

障がいを持つ幼児・児童・生徒が増加傾向にあることから、就学相談や就学指導委員会の充実に努め、適切な就学先を提供できるように努める。

幼児ことばの教室の利用者数などの状況を把握し、設置について検討していく。

事業シート (事業名) 外国人子ども教育支援推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 外国人の子供が抱える課題が多様化する中、教育支援体制や支援内容の充実を図ることで、共生社会の一員となる外国人の子供の学習や成長を支援する。
 【事業対象】 市立小中学校

◇事業の概要

外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等の外国人児童生徒の日本語及び学習の支援を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19		一般会計	自治事務(その他)	浜松市外国人児童生徒就学支援員設置要綱、外国人児童生徒就学サポーター設置要綱	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	112,454	115,656	115,827
	決算	105,862	104,757	
	国・県支出	6,287	11,012	21,795
	市債			
	その他			
	一般財源	99,575	93,745	94,032
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		22,400	22,400	22,400
人工	正規	1.6	1.6	1.6
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	4.0	4.0	4.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
日本語指導を必要とする児童生徒への支援達成率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	98	99	99			100
実績値	98	99				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
外国人の子どもの不就学				II-2(2)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	ゼロ維持	ゼロ維持	ゼロ維持	ゼロ維持		
実績値	2	2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等の外国人児童生徒の日本語及び学習の支援を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置した。
- ・学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等の外国人児童生徒の日本語及び学習の支援を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 生徒指導事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 児童生徒の不登校、問題行動の未然防止及び早期発見、早期解決を図り、どの子供も夢と希望を持って学ぶことができる学校づくりを進める。
 【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【重点戦略項目No.40】
 【スクールソーシャルワーク事業】
 家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣する。
 【スクールカウンセリング事業】
 いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に派遣するとともに、児童生徒の非行・問題行動の早期発見や緊急時の対応等を行うため、生徒指導推進協力を派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10		一般会計	自治事務(その他)	浜松市スクールカウンセリング事業実施要綱、浜松市スクールソーシャルワーカー活用事業実施要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	124,995	132,231	138,752
	決算	120,364	126,959	
	国・県支出	35,866	41,852	46,244
	市債			
	その他			
	一般財源	84,498	85,107	92,508
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	4,200	7,000
人工	正規	0.5	0.6	1.0
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市内小中学校における問題行動の発生件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	445	370	380			400
実績値	380	397				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
スクールカウンセラーの配置数(人工)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59	62	63	67		70
実績値	59	62				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
スクールソーシャルワーカーの配置数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	9	10	11	12		15
実績値	9	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
自分にはよいところがあると思う子どもの割合(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	75	79	80		80	
実績値	小82.2、中74.7	小83.0、中75.0				

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.40】
【スクールソーシャルワーク事業】
 家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣する。
【スクールカウンセリング事業】
 いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に派遣するとともに、児童生徒の非行・問題行動の早期発見や緊急時の対応等を行うため、生徒指導推進協力員を派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 【重点戦略項目No.40】
【スクールソーシャルワーク事業】
 家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを9人を拠点校に、1人を指導課に配置し、必要に応じて周辺校に派遣した。
【スクールカウンセリング事業】
 ・いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、62人工のスクールカウンセラーを市立小・中学校、市立高等学校に派遣した。
 ・児童生徒の非行・問題行動の早期発見や緊急時の対応等を行うため、生徒指導推進協力員1人を派遣した。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・拠点校にスクールソーシャルワーカーを9人配置し、生徒指導上の問題に対応した。
 ・指導課にスクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーを配置して、スクールソーシャルワーカーを支援した。
 ・スクールカウンセラーを62人工に増員して、児童生徒や保護者の悩みに対応した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成29年度からスクールカウンセラーのスーパーバイザーを指導課に配置し、スクールカウンセラーの支援を行う。
 ・スクールソーシャルワーカーを増員して、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図っていく。
 ・スクールカウンセラーを増員して、児童生徒の非行・問題行動の早期発見や緊急時の対応等を行っていく。

平成29年度

(管理番号)
02 02 04 04 005110000 03

(担当課)
指導課

(責任者)
森 真人

(作成日)
平成 29 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 生徒指導事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
40	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。

事業シート (事業名) 教育相談推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 教育に関する様々な相談に対応するとともに、支援を行う。また、心理状態や精神状態の見極めを必要とする相談等にも対応できるよう、スーパーバイザーや家庭訪問相談員を配置する。
 【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

外部専門家や専門事業者等の活用により、内容が複雑化、多様化している教育相談やいじめ相談等に対応する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20		一般会計	自治事務(その他)	家庭訪問相談員派遣事業実施要綱、教育相談支援センター心理専門実施要綱、教育相談支援センター研修会実施要綱	○	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	14,650	15,919	17,783
	決算	13,645	14,060	
	国・県支出	2,453	2,096	2,657
	市債			
	その他			
一般財源		11,192	11,964	15,126
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	3,500	6,300
人工	正規	0.5	0.5	0.9
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
教育総合支援センター及び各区における相談件数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,400	1,400	1,400			1,400
実績値	1,350	1,360				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

外部専門家や専門事業者等の活用により、内容が複雑化、多様化している教育相談やいじめ相談等に対応する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・心理専門相談員や家庭訪問相談員等を配置、派遣し、教育相談やいじめ相談に対応した。
- ・24時間いじめ電話相談業務を行った。
- ・いじめ対策等専門家チームを設置した。
- ・学校ネットパトロール調査を実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 不登校児支援推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 不登校児童生徒の自立を促すため、学校や家庭、専門機関と連携して支援を行う。
 【事業対象】 市立小中学校

◇事業の概要

不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立支援を目指し、学校に登校できない子供に対応する適応指導教室や学校に登校するが、教室に入れない子供の校内適応指導教室を設置し、一人一人のニーズに応じた支援を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H3		一般会計	自治事務(その他)	浜松市不登校児支援協議会設置要綱、不登校児のための適応指導教室実施要項	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	32,093	32,871	32,873
	決算	31,763	32,376	
	国・県支出	245	456	518
	市債			
	その他			252
	一般財源	31,518	31,920	32,103
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		25,200	24,500	24,500
人工	正規	1.6	1.5	1.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	5.0	5.0	5.0

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市内小中学校の不登校児童生徒数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	930	930	930			700
実績値	1,034	1,044				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立支援を目指し、学校に登校できない子供に対応する適応指導教室や学校に登校するが、教室に入れない子供の校内適応指導教室を設置し、一人一人のニーズに応じた支援を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立支援を目指し、学校に登校できない子供に対応する適応指導教室や学校に登校するが、教室に入れない子供の校内適応指導教室を設置した。
- ・校内適応指導教室支援員を配置した。
- ・ほっとエリア阿多古でチャレンジ教室(自然体験教室)を開催した。
- ・不登校児支援協議会を年2回開催した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

校内適応指導教室を1箇所増設し、市内で2箇所開設した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

児童生徒や保護者等のニーズに合わせて適応指導教室の設置場所の見直しを進めていく。